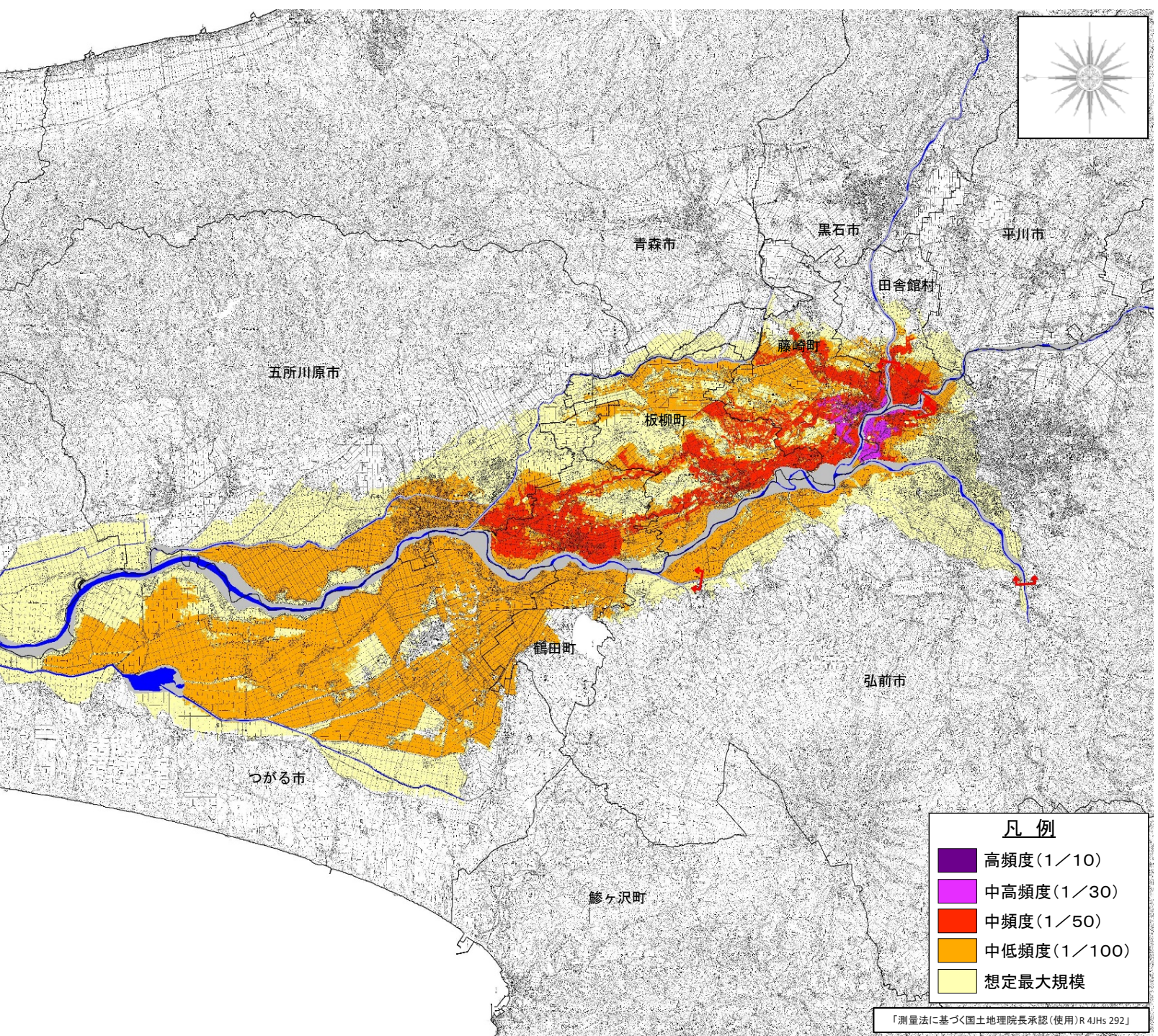


岩木川水系 水害リスクマップ 【現況(浸水が発生する範囲)】

1. 説明文
- (1) この水害リスクマップは、流域治水の推進を目的として、年超過確率1/10、1/30、1/50、1/100の降雨により浸水した場合に想定される多段階の浸水想定図を重ね合わせたものであり、年超過確率ごとの浸水範囲(浸水発生)を示した図面です。
 - (2) この水害リスクマップは、現況の岩木川、旧大峰川、平川、土淵川及び浅瀬石川の河道及び治水調節施設の整備状況を勘案して、年超過確率1/10(毎年、1年間にその規模を超える洪水が発生する確率が1/10(10%)、年超過確率1/30(毎年、1年間にその規模を超える洪水が発生する確率が1/30(3%)、年超過確率1/50(毎年、1年間にその規模を超える洪水が発生する確率が1/50(2%)、年超過確率1/100(毎年、1年間にその規模を超える洪水が発生する確率が1/100(1%)の降雨に伴う洪水により岩木川、旧大峰川、平川、土淵川及び浅瀬石川が氾濫した場合の浸水の状況をシミュレーションにより算出したものです。
 - (3) このシミュレーションの実施にあたっては、支川の(決壊による)氾濫、高潮及び内水による氾濫等を考慮していません。また、前提となる降雨や河道条件、地形条件等によってシミュレーションの結果は異なります。あくまで一つのシミュレーション結果ですので、この水害リスクマップに示されている年超過確率と浸水頻度が異なる場合や、浸水範囲に含まれていない地区においても浸水が発生する場合があります。なお、このシミュレーションは、河川整備基本方針の基本高水検討時の降雨波形(昭和50年8月型)を用いているため、河川整備計画の策定時とは異なる場合があります。
 - (4) 想定最大規模の浸水範囲は、水防法に基づき平成29年1月に指定・公表したものを表示しているため、河道条件が異なります。
2. 基本事項等
- (1) 公表年月日 令和4年9月30日
 - (2) 作成主体及び対象となる河川 国土交通省東北地方整備局
青森河川国道事務所：岩木川水系岩木川、旧大峰川、平川、土淵川及び浅瀬石川
 - (3) 実施区間
 - ・岩木川水系岩木川(実施区間)
左岸：青森県弘前市大字島井野字川村8番地先から河口まで
右岸：青森県弘前市大字下湯口字青柳177番地先から河口まで
 - ・岩木川水系旧大峰川(実施区間)
青森県弘前市大字小友字田野658番地先の県道橋下流端から岩木川への合流点まで
 - ・岩木川水系平川(実施区間)
青森県弘前市大字撫牛字橋本635番地先のJR奥羽本線平川第一鉄橋から岩木川への合流点まで
 - ・岩木川水系土淵川(実施区間)
青森県弘前市大字大久保字宮本277番地先の旧道橋下流端から平川への合流点まで
 - ・岩木川水系浅瀬石川(実施区間)
青森県南津軽郡田舎館村大字大根子字大川原田4番の2地先の県道朝日橋下流端から平川への合流点まで
 - (4) 算出の前提となる降雨
 - ・年超過確率1/10(岩木川流域の2.4時間の総雨量10.9mm)
 - ・年超過確率1/30(岩木川流域の2.4時間の総雨量14.7mm)
 - ・年超過確率1/50(岩木川流域の2.4時間の総雨量16.5mm)
 - ・年超過確率1/100(岩木川流域の2.4時間の総雨量19.2mm)
 - ・年超過確率1/想定最大規模(岩木川流域の2.4時間の総雨量27.9mm)
 - (5) 河道条件：現況
 - (6) 関係市町村：五所川原市、つがる市、鶴田町、弘前市、板柳町、藤崎町、田舎館村、平川市
- ※この水害リスクマップは水防法に基づく図ではありません。



凡例	
	高頻度(1/10)
	中高頻度(1/30)
	中頻度(1/50)
	中低頻度(1/100)
	想定最大規模

「測量法に基づく国土地理院長承認(使用)R4JHs 292」